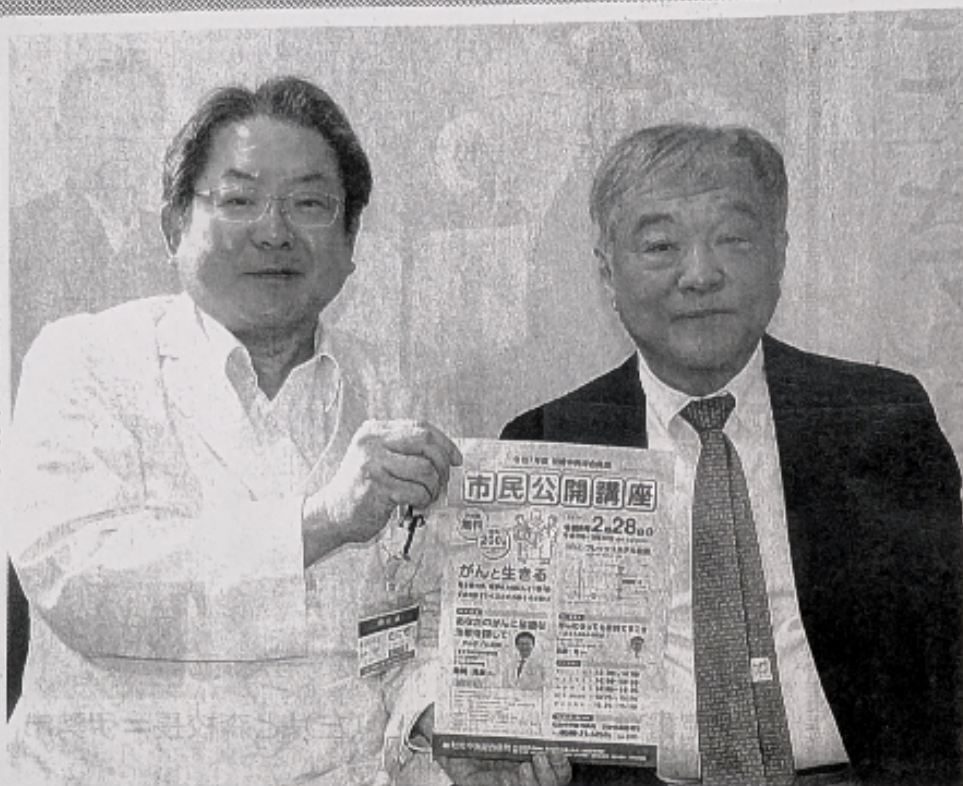


がんゲノム医療連携病院に

松阪中央病院、国が指定

来月28日に市民公開講座



市民公開講座への参加を呼びかける田端院長（右）ら。松阪市川井町の松阪中央総合病院で。

【松阪】松阪市川井町の松阪中央総合病院（田端正己院長）はこのほど、「がんゲノム医療連携病院」に指定された。

二月二十八日午後二時から、同市中央町のフレックスホテル松阪で市民公開講座を開く。

がんゲノム医療連携病院は三重大学医学部付属病院が拠点。県内の「地域がん診療連携拠点病院」四機関のうち、専門的な知識と技術を持つ医療スタッフなど要件を満たした病院を国が指定する。指定は四年前の伊勢赤十字病院（伊勢市船江）に続き二番目となる。

がんゲノム医療は、患者の遺伝子情報を解析し、がんの種類や体質に

適した抗がん剤を選択し、治療効果の向上や副作用の軽減を目指す。化学療法法の患者や、標準治療がない希少がんや原発不明がんの患者などが対象となる。

同院は「がんゲノム診療科」を新設し、三重大病院で診察していた患者を引き受ける。患者はこれまで年間十五二十人もいる。

田端院長は「一人一人の状態に応じた適切な治療を組み合わせ、治療効果の最大化と生活の質の向上を目指す」と話している。

市民公開講座は三重大学医学部付属病院ゲノム医療部ゲノム診療科教授の奥川喜永氏と、松阪中央総合病院よろずお悩み相談屋の岩田真氏が講演する。参加費無料。申し込みは同院診療情報管理室。電話0598（21）52522へ。